

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100219
法人名	医療法人 健秀会
事業所名	グループホーム どんぐりの里
所在地	鹿児島県霧島市隼人町真孝113番1 (電話) 0995-44-6934
自己評価作成日	平成27年2月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症を有する高齢の方が、安心・安全のもとに穏やかな生活を送ることが出来るよう援助したい。
認知症を有する高齢の方は、種々の疾病(循環器疾患、消化器疾患、呼吸器疾患、泌尿器疾患など)に罹患されていることも少なくない。
隣接のたまいクリニックにて医療面でのサポートもしていきたい。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月17日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は木造平屋建てで、母体医療機関が隣接し、災害時の相互協力関係も構築されている。また緊急時の対応や看取りなど、バックアップ体制が取られている。
- ・周辺には一般住宅や小・中学校、大型店舗などがあり、散歩や買い物の際には挨拶や会話を楽しんだり、野菜や果物の差入れなどがある。
- ・地域行事を見物に行ったり、知人と会話をしたり、馴染みの人の訪問を奨励するなど、継続的關係が途切れないよう働きかけている。
- ・利用者が張り合いのある日々を過ごせるように、折り紙やそば打ちを一緒にしたり、役割発揮を支援している。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員の意見や提案を積極的に取り入れている。
- ・市主催の認知症模擬徘徊訓練に参加して、認知症の理解を深めるための地域貢献をしている。
- ・口腔ケアに力を入れている。
- ・1日の流れの中に散歩の時間設定があり、可能な限り身体を動かすよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念は施設内の表示と入職時に説明し、日々の実践につなげるようミーティングにおいても取り上げている。	開設時に地域密着型の理念を作成し、その後、地域の特性を考慮し見直しをしている。事業所内に掲示し、ミーティングで話し合いの機会をもち、理念を基盤とした、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民との交流をめざす為、防災訓練時にチラシを配布して招待したが、実績までは至っていない。地域の文化祭などを見学させて頂き、一緒に健康体操をしたり、お茶をたてて頂いたり楽しんでいる。	地域行事のゲートボールや健康体操・文化祭などの見物に行ったり、中学生や高校生・看護学生の職場体験学習、ボランティアの受け入れなども行っている。散歩や買い物際には挨拶や会話を交わし、野菜などの差入れをいただく等、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	霧島市と住民との協力の下、実施された認知症模擬徘徊訓練に参加させていただき、地域住民の認知症への理解を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的な運営推進会議においては、民生委員、ご家族、地域包括、更に市の職員の方々のご意見を賜り、サービスに取り入れている。</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所の状況や外部評価の報告を行い、意見交換をしている。提案で、模擬徘徊の具体的な訓練や年末のそば打ちを一緒にするなど、サービスに活かされている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>日頃より市（長寿福祉課）にはお世話になっている。定期的な運営推進会議にも、多忙な中、ご出席下さり、ご意見等頂いている。また、市主催の健康祭りにも参加させていただいている。</p>	<p>市担当者とは更新書類などを持ち寄り、事業所のサービスの取り組みを伝え、情報を交換してアドバイスを貰っている。運営推進会議の参加を通して協力関係もできている。市主催の研修会や行事にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>現在、幸いにも入居者の皆様は落ち着いておられる。更にミーティング（勉強会）においても、取り上げるようにし、理解を高めている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会でマニュアルを作成して毎月、勉強会をしている。全職員が言葉による拘束も含め、身体拘束をしないケアを実践している。日中は施錠せずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>「虐待防止」については、日頃より勉強会に取り上げ、知識を深めていくよう務めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会に取り上げ、知識を深めるよう努力している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時のパンフレットの説明と契約時も十分な説明をもって、ご理解納得の上、契約の締結に至っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の要望等においては、日頃の会話の中や、様々な表現から感じ取れるよう傾聴し、ご家族においては面会時などに要望を聞いている。更に「意見箱」も設置している。</p>	<p>利用者とは日常の言動や会話から思いを把握している。家族からは面会時に話をしたり、家族会や花見・そば打ち・敬老会参加の時等、意見や要望を聞くようにしている。遠方の家族には手紙や電話で連絡をとって出された意見や要望は運営に反映させている。料理の要望にも応えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は、スタッフが気軽に相談できるよう雰囲気作りに務めている。また、内容によっては施設長の意見を仰いでいる。定期（臨時）ミーティングを開催し、情報交換と意見の疎通を図っている。</p>	<p>管理者は職員とのコミュニケーションを図り、ミーティング等で職員の意見や提案を聞いている。仕事や催し物の役割分担を明確にしたり、買い物やおむつの発注について等、忌憚のない意見が出され、施設長と相談し運営に反映している。個別の相談事は時間を設け適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>健康管理（メンタル管理）については、有休の消化も勧めている。パートから常勤者への昇格も実施している。その他、就業については随時相談に応じている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>介護面では各種の研修会に出席（1回2名程度）している。その後の報告会も行なっている。医療面では隣接のクリニックでの合同朝礼やミーティングに参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者やケアマネージャーが他のグループホームとの研修会などに年1～2回出席している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所から初期のうちには務めて声かけ、様子観察を行い、本人との係わりの中で信頼関係を築けるよう務めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族との会話から、その思いや要望を引き出し、何でも言っていたりするような関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要とされているサービスや日常生活上の特別な要望があれば、それを叶えることができるよう最大限努力している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者を中心に考え、寄り添う気持ちで家庭的な雰囲気重視している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や外出を自由にして頂き、家族との交流も維持している。更に「夏祭り」「敬老会」などのイベントも家族と一緒に楽しんで頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人の面会や退職したスタッフの面会もあり、更に家族と行きつけの美容院や理容室などの活用も維持している。	友人や知人の訪問を奨励して、近所の知人の訪問がある。馴染みの美容院の利用や買い物は同行している。家族の協力を得て外食や帰宅・墓参・年末の外泊など、継続的關係が途切れないよう働きかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の声かけや会話ができるように状況に合わせて席順を考慮したり、孤立しないよう務めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院者へ見舞ったり、退去後も家族が来所された際、こころよく対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	できる限り本人やご家族の希望や要望に答えられるよう努力している。	日々の関わりの中で思いや意向の把握に努め、ゆっくりと丁寧に対応して要望に応えられるようにしている。意思疎通が困難な場合は、家族からの情報を得て、利用者の視点に立って職員間で話し合い、意思の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の状況や様子、注意点等を中心に、できるだけ多くの情報を集めることを心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	様子観察や記録に目を通すことで日々の様子を把握し、スタッフからの報告も参考にしながら把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	施設内で提案、意見を出し合いながら必要と思われるケアや、今までのケアの変更を検討し、ご家族の要望や意見を聞きながらプラン作成を心がけている。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフ間の意見交換を多くし、情報を共有しながらケアを実践し、次の介護計画の見直しに活かすよう務めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族のニーズにできるだけ答えられるよう務めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの活用と地域の文化祭への参加などを楽しんでいたり、遠方から面会にいられた家族と、温泉や外食なども楽しんで頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間医療連携体制の中、適切な医療を受けていただいている。更に本人、ご家族の要望にも応じて専門医の受診も行なっている。	本人や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。歯科・整形外科等はかかりつけ医で受診している。専門医への受診は、家族や職員が適切に対応している。隣接の協力医療機関の定期的往診や緊急時の24時間医療連携体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携の中でDr. や看護師に対して随時報告、相談し、適切に支持を仰いでいる。更に緊急性のある場合は、それらに対応できるように連携体制も整っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先のDr. と施設長との連携体制（情報交換）の中、更に施設との情報交換も維持しながら、安心して治療できるよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時の説明と重度化の看取りについては指針と同意書を準備している。終末期においては家族の方針（要望）を重視している。</p>	<p>契約時に、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。既に看取りの経験がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変に対してはたまいきクリニックと連携を図り、対応している。事故に対しては、マニュアルに従うよう指示している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を年2回実施している。更にミーティングにおいても取り上げ、スタッフの意識を高めている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜間想定での避難訓練と年2回自主訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置・防災設備がされている。AEDの訓練も実施している。訓練時は近隣住民にも参加を呼びかけている。非常時の水や食料品も備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的に勉強会を行い、スタッフの言動、行動等、気づいた時は、スタッフ同士で注意を行なっている。	利用者の人格を尊重する言葉かけや日常の言動に気配りした対応に留意し、定期的に勉強会を行って、職員の資質向上に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、本人の意欲があるものは積極的に行なえるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	規則や時間にとらわれず、利用者のペースで行動していただくよう務めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的な散髪、また好み等を聞き、把握するよう努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好物や季節の物を積極的にメニューに取り入れるよう努力している。利用者ができる範囲での食事の準備、片付けを行なっている。	給食委員会があり、栄養士の助言を得ながら、旬の食材を採り入れ、嗜好に配慮した献立を工夫している。利用者も可能な範囲で準備や後片づけを職員と一緒にしている。誕生会や行事食が楽しみなものになるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	透析中の利用者に対してはたまいきクリニック（医療連携）の管理栄養士の指示を仰いでいる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者の状況に合わせて施行している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の活用と利用者に合わせてトイレ誘導を行っている。	個々人の排泄パターンや習慣を把握し、声かけや誘導によるトイレでの排泄を大切にしている。排泄後の清潔保持やオムツを減らす取り組みを支援している。夜間のみポータブルトイレ使用者もいる。おむつからリハビリパンツに改善され喜ばれた例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	慢性的な便秘に対してはDr. の指示に従い、排便剤で対応しているが、食事の中に野菜、特に根菜類を多く取り入れるよう務めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>週2回以上を設定しているが、本人の要望を重視している。要望があれば午後の入浴も実施している。</p>	<p>入浴は基本的に週3回であるが、希望に添って入浴ができるように、毎日でも対応している。入浴をいやがる利用者には順番を変えたり声かけを工夫したり、家族の協力をもらったこともあった。2人体制で入浴を支援したり、柔軟に対応している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>本人の生活習慣を尊重している。更に安眠がとれるよう夜間はテレビを消したり、良民が取れるよう外気浴も実施している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>マニュアルに添い、確認実施をしている。更に、たまいきりニックの看護師との連携も実施している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりに合わせた楽しみ（折り紙やトランプ）を支援したり、歩行運動を支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>本人、家族の希望や要望を取り入れ、買い物や散歩、外出、外泊を行なっている。</p>	<p>日常的には、近隣を散歩して近所の方と話をしたり、一人ひとりの楽しみごとに合わせて出かけている。ドライブを兼ねて自宅近辺に行ったり、計画を立てて、花見や初午祭・文化祭など地域行事等に出かけている。家族の協力で外食や墓参・買い物にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族や本人の希望に応じている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話で家族とお話をされたり、遠方の家族からの葉書が届いたり、家族とのコミュニケーションが維持されている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感のある飾りつけをしたり、家庭的な雰囲気作り、居心地の良い空間作りに務めている。</p>	<p>共用空間は天井が高く天窓があり明るい。換気や採光に配慮し清潔である。台所から調理の香りや利用者がよく見えて生活の匂いがする。壁には行事の写真や作品などが貼付してある。ゆったりしたソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>それぞれの状況および自立に応じて工夫をしている。リビングにおいては、気の合う利用者同士が楽に過ごせるよう席順の工夫もしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>住み慣れた自宅の雰囲気や維持できるように使い慣れた家具や飾り物など、更にアルバムなど活用して頂いている。ベッドの位置なども本人やご家族の要望に応じている。</p>	<p>居室はベッドとタンスが備え付けである。カレンダーや家族写真・仏具・椅子・趣味の小物・テレビ等、これまで使い慣れた物や本人・家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの自立に応じたトイレや洗面所などの活用をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない